

生産出荷近代化計画の概要

〔指定産地名〕 田辺

〔種別〕 夏秋なす

〔指定年月日〕 昭和53年6月26日

〔計画樹立年月日〕 昭和54年1月31日

〔区域〕 京田辺市

生産及び出荷の近代化に関する基本的構想

農業従事者の高齢化及び農業後継者の不足、都市化の進展による混住化などにより農業環境が悪化している。農業後継者の不足への対応については「田辺ナス農家養成塾」により対応していく。「田辺ナス農家養成塾」では、新規になす栽培を始める方に、なす栽培を熟知したベテラン農家が、約1年間にわたり、土づくりから箱詰めまでを指導していく。

生産出荷近代化の現状と目標

| 項目 | 現状 (H22) | 目標 (H27) |
|------------|----------|----------|
| 作付面積 (ha) | 15 | 16 |
| 生産量 (t) | 1,150 | 1,226 |
| 出荷量 (t) | 1,060 | 1,130 |
| 共販等量 (t) | 738 | 847 |
| 共販等率 (%) | 70 | 75 |
| 収量 (t/10a) | 7.6 | 7.6 |